

1999年10月13日

東京外国為替市場委員会第27回会合議事録

開催日時 1999年9月22日12:30～15:15
場 所 日本銀行本店新館9階大会議室
議 長 森岡 俊行(東京三菱銀行)
副議長 大倉 孝 (バンク・ワン銀行)
副議長 花井 健 (日本興業銀行)
書 記 田中 克 (日本銀行)
参加委員数 17名(別紙)

1. 2000年(Y2K)対応

リスク管理小委員会委員長の高松委員から、8月30日に開催した同小委員会における討議結果について、以下のとおり報告がありました。

- ①Y2K 対応のため、年末年始の Bank Holiday を変更している国がある¹ので、改めて市場参加者に対し、注意を喚起する。
- ②Y2K によるシステム障害を原因として支払が滞った場合の処理の仕方について、海外の動向をモニターする。
- ③年末年始の取引について、value date を強制的に変更するという考え方は、支持しない。
- ④12月29、30日は、市場参加者がスポット取引を控える関係で、当日物、翌日物に関しても流動性低下が予想されることを、市場参加者、顧客に注意する。
- ⑤当委員会のコンティンジェンシー・プランとして、年末年始の緊急連絡網を作り、緊密な情報交換を行うこととする。

これを受けて議論が行われ、同小委員会の結論が了承されました。

なお、②に関し、法律問題小委員会委員長の小林オブザーバーより、ニューヨーク外為委員会が、クリアリング・バンクや中央銀行の決済システムで Y2K による障害が生じた場合の対処方法として、Best Practice を公表しようとしていること²、本委員会、シンガポール外為市場委員会、英国銀行協会に対し、共同発表者となるか、エンドースするよう求めていることについて報告があり、本委員会としての取扱いにつき検討することとなりました³。

¹ Global 2000 Co-ordinating Group のインターネット・ホームページ (<http://www.global2k.com/>) 参照。

² 近日中に NY 外為委のインターネット・ホームページ (<http://www.ny.frb.org/fxc/>) で公表される予定。

³ 後日、検討した結果、エンドースすることとなりました(詳細は別添参照)。

また、③について、value date の市場慣行を変更するのは、混乱を招く可能性が大きいとの認識で一致しました。

④については、市場参加者が Y2K による決済リスクを回避するため、2000 年 1 月第1週に決済日が到来する取引を極力回避する結果、スポット取引については、12 月 29 日以降市場の流動性が低下し、bid と offer の大幅な乖離や、値動きの不安定化等の懸念があるとの認識で一致しました。この影響で 12 月 29 日、30 日の当日物、翌日物取引についても、流動性の著しい低下、価格の歪み、相場的大幅な変動等の可能性があるため、議事録において、市場参加者に注意を喚起するとともに、顧客にも周知を図ることを勧奨することとなりました。また、ある委員からは、値動きの不安定化によるバリア・オプション取引への影響を懸念する意見が表明されました。

2. 教育広報小委員会からの報告

教育広報小委員会委員長の渡辺委員から、平成 11 年度のフォレックス・セミナー(本年 12 月開催予定)について、講師の人選等を進めている旨の報告がありました。

3. Global Code of Conduct

中島委員から、ACI(世界フォレックスクラブ)より、Global Code of Conduct⁴の Draft を受領し、内容の検討を依頼されたこと、およびいずれ日本語訳作成を依頼される可能性があることが報告されました。これを受けて、中島委員と市場取引に関する小委員会委員からなるグループで検討作業を行うこととなりました。

4. 法律問題小委員会からの報告

法律問題小委員会委員長の小林オブザーバーから、同小委が、「ISDA 1998 FX and Currency Option Definitions 解説資料作成プロジェクト」について、ISDA Japan との共同会合を開催し、作業の進め方や経費分担方法の大枠について検討を行った旨の報告があり、了承されました。

5. EBS

ある委員から、「EBS の端末には音声で出来値を読み上げる機能があるが、一部の銀行がその音声をそのまま顧客に横流ししているとの噂がある」との発言があったことに対し、石川委員から、「EBS では、今のところ、そのような事実を確認していないが、EBS がユーザー金融機関と締結して

⁴ ACI の Committee for Professionalism(CFP)が、ACI および主要外為市場(ロンドン、ニューヨーク、東京、シンガポール、パリ)の Code of Conduct にみられる共通部分を抽出、取り纏めるとともに、現状に即して改訂したものの。

いる契約では、そのような行為は禁止されており、違反行為が確認された場合は厳格な処置を取ることがある」との報告がありました。

6. 運営小委員会からの報告等

運営小委員会委員長の加藤委員から、9月10日に開催した同小委員会の会合で、当委員会を今後いかなる組織形態とするか等について検討した旨の報告があり、引続き検討を続けていくこととなりました。また、11月4日に開催されるニューヨーク外為委員会・シンガポール外為市場委員会合同会合に、オブザーバーとして一部委員を派遣することが了承されました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(9月22日現在)

<委員>

議長	○森岡 俊行	(東京三菱銀行)
副議長	○花井 健	(日本興業銀行)
副議長	○大倉 孝	(バンク・ワン銀行)
書記	○田中 克	(日本銀行)
運営小委員長	○加藤 博光	(野村信託銀行)
教育・広報小委員長	○渡辺 秀典	(第一勸業銀行)
市場取引に関する小委員長	○酒匂 隆雄	(UBS 銀行)
リスク管理小委員長	○高松 力	(チェース・マンハッタン銀行)
CFD に関する小委員長	○三島 裕史	(さくら銀行)
	○菊池 宏	(三和銀行)
	○野手 弘一	(住友銀行)
	○菅田 克彦	(富士銀行)
	齋藤 廣志	(三菱信託銀行)
	○松田 哲	(オーストラリア・コモンウェルス銀行)
	○中島 尚彦	(スタンダードチャータード銀行)
	竹本 隆彦	(ドイツ・バンク)
	○石川 栄一	(イービーエス・ディーリング・リソース・ジャパン)
	○尾崎 信一郎	(上田ハーロー)
	○神田 紀昭	(ロイター・ジャパン)

<オブザーバー>

法律問題小委員長	○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○小林 一夫	(日本銀行)

(注)敬称略(順不同)。○は今回出席。